

全国の女子中・高・大学生・20代OL400人と30・40代の母親200人に聞く「バレンタイン事情2013」調査

告白よりもみんなと一緒に楽しみたいバレンタイン

友達・家族と楽しむ「チョコレートパーティー」が人気

アレンジチョコでつながる“チョココミュニケーション”が活発に



バレンタインは、告白の日から「チョコを媒介にしたコミュニケーションの日」へと進化。

バレンタインでチョコをあげる人 1位「女友達」(68.5%) 2位「父親」(44.3%) 3位「彼氏」(38.0%)。

バレンタインは、「恋人を作る日」(10.5%)から「感謝の気持ちを伝える日」(41.3%)へ。

バレンタインに男女を問わずチョコを媒介に交流する“チョココミュニケーション”に7割が賛同。

「おうちでチョコレートパーティー」が新しいバレンタインスタイルになる?!

4人に1人(23.0%)はバレンタインをきっかけに、自宅でチョコレートパーティを開催。

女子大生は3人に1人(36.0%)がチョコレートパーティー経験者で、2人に1人(58.0%)は今後やってみたくて積極的。

友チョコはすっかり定着。バレンタインはチョコ・フェス*!!

「友チョコ」は、あげる・もらうだけでなく、贈り合うもの。11.1人に友チョコをあげて、9.8人からもらう予定。

友チョコは小学生の頃に始まり、中学生で本格化。

中学生はお小遣いが赤字(おこづかい2,268.5円<バレンタイン出費2,724.8円)になっても、バレンタインはきちんと実施。

実は、「お正月」(13.0%)より「バレンタイン」(32.0%)の方が大事な中学生。

*チョコ・フェスとは、友チョコや告白チョコをはじめ、ファミチョコ、チョコパー、チョコ料理、チョコ風呂、チョコ関連のWEBサービスなど全てが含まれ、バレンタインに関するお祭り行事の総称。従来の1対1の重い告白ではなく、大勢で集まって盛り上がるイベント的な過ごし方です。

家族で楽しむバレンタイン。ファミチョコのススメ。

家族間でチョコを贈り合う「ファミチョコ」(実施意向率87.0%)が人気。ママたちの95.0%が夫にチョコを贈る。

贈るチョコは、今年もやっぱり「デコチョコ」が主流。

ファミチョコも友チョコも、市販のチョコをアレンジしたデコチョコが人気。中学生(72.0%)も高校生(71.0%)も、デコチョコ。

2月14日はバレンタインデー。かつては「女性から男性に告白する日」でしたが、最近では、彼氏への本命チョコよりも女友達との「友チョコ」が重視され、また家族間でチョコを贈り合う「ファミチョコ」の人気も高くなっています。

去年のバレンタイン事情を振り返るとともに、2013年のバレンタイン計画を調査。さらには、これからのバレンタインについても予想しています。

- 実施時期 2012年12月18日(火)～12月19日(水)
- 調査手法 インターネット調査
- 調査対象 全国の10代～20代の未婚女性**400人**と小中学生の女の子を持つ母親**200人**【計600人】
 - 中学生(13歳～15歳)…100人 高校生(16歳～18歳)…100人 } 400人
 - 大学生(19歳～22歳)…100人 会社員(23歳～29歳)…100人 }
 - ※2012年のバレンタインデーにチョコをあげ、2013年のバレンタインデーもチョコをあげる予定の未婚女性
 - 小学生か中学生の女の子を持つ母親(30歳～39歳100人／40歳～49歳100人)…200人
 - ※自分と娘双方が2012年のバレンタインデーにチョコをあげ、2013年のバレンタインデーもチョコをあげる予定の既婚女性

「バレンタイン事情2013」総括

■2013年のバレンタインデー。10・20代独身女性が、チョコをあげる予定は12.9人で、去年の実績(13.4人)よりやや少なくなりますが、総予算は3,528.2円と去年(3,383.2円)よりやや高くなっています。チョコをあげる予定の相手は「女友達」(68.5%)が今年もトップで、11.1人の女友達にチョコをあげる予定です。また、去年に続き第2位は「父親」(44.3%)で、「彼氏」(38.0%)や「告白したい男性」(10.3%)より高く、娘の2人に1人はパパにチョコをあげる予定です。

チョコ予算をみると、「彼氏」への本命チョコは51.2円安(去年1,840.1円→今年1,788.9円)ですが、「告白したい男性」への告白チョコは77.1円高(去年825.3円→今年902.4円)と増額されています。あげる予定のチョコのタイプは、去年同様、スーパーやコンビニなどで販売している市販のチョコ菓子を自分らしくアレンジした“デコチョコ”(62.3%)が人気です。

■今年も人気ナンバー1の「友チョコ」ですが、中学生は90.0%、彼氏がない人は83.3%が女友達に友チョコを送る予定です。中学生は18.0人にチョコを贈る予定で、うち13.8人は女友達で、友チョコの平均単価は392.2円です。中学生のバレンタイン出費総額は2,724.8円となり、彼女たちの1ヶ月のお小遣い(平均2,268.5円)を500円近くも上回っています。友チョコの習慣は、中学生では約4年前から、小学生でも2.6年前から始まっており、小学生の頃に始まった友チョコ習慣が、中学生になると本格化するようです。また、彼氏がない人は15.7人にチョコを贈る予定で、うち12.5人が女友達。平均価格は411.0円と、あげる人数が多いため全体平均(440.6円)より廉価です。

■バレンタインをきっかけに「チョコ料理」(23.8%)を食べたり、「自宅でチョコパーティー」(23.0%)を開く人も増えています。中でも女子大生がチョコイベントをリードしており、約6割が「自宅でチョコパーティー」(58.0%)を希望しています。バレンタインデーは従来の告白の日から、女友達とチョコを贈り合い、チョコ料理を食べたり自宅でチョコパーティーを開くなど、チョコを囲んで家族や友達など気の合う仲間とみんなで盛り上がるイベント「チョコ・フェス」となっているようです。

■ママたちの95.0%は「夫」へチョコを贈る予定で、約半数が市販のチョコをアレンジした「デコチョコ」(46.5%)の予定です。家族間でチョコを贈り合う「ファミチョコ」も人気で、全体で87.0%、ママたちでは95.0%が「してみたい」と意欲的です。

■これからのバレンタインは、「恋人を作る日」(10.5%)から「感謝の気持ちを伝える日」(41.3%)へとさらに変化すると予想されており、男女を問わずチョコで感謝の気持ちを表しコミュニケーションする“チョココミュニケーション”への賛同者(70.5%)が増えています。また、「バレンタインデー」(20.3%)は「お正月」(22.0%)と並んで、将来、行うことが増えそうな日と位置づけられており、“チョココミュニケーション”の普及に拍車がかかりそうです。

I.2012年 去年のバレンタイン実績



p3

- ♥ 去年(2012年)のバレンタインデー。10代・20代独身女性は1人平均13.4人にチョコをあげ、そのうち「友チョコ」は11.9人。「彼氏」(35.8%)や「告白したい男性」(10.0%)より、「女友達」(70.5%)への友チョコを重視。
- ♥ チョコ出費総額は3,383.2円。1人あたり予算、豪華な本命チョコ(1,840.1円)に対し、友チョコ(411.7円)はリーズナブル。
- ♥ バレンタイン・チョコは、市販のチョコ菓子をベースに自分らしくアレンジした“デコチョコ”(76.0%)が主流。
- ♥ バレンタイン・チョコにいちばん気持ちをこめるのは、「告白したい男性」(8.8%)より「女友達」(38.5%)。
- ♥ イマドキのバレンタインデー、チョコをあげるだけでなくもらう日に。彼氏のいない女性は(10.8人)は、いる女性(5.8人)の2倍チョコをもらっており、より盛り上がっている。
- ♥ バレンタイン・チョコの贈り合い(愛)は女子同士の新しいギフト習慣。90.7%が実践。

II.2013年 今年のバレンタイン計画



p8

- ◆ 今年(2013年)のバレンタインデー。独身女性は1人平均12.9人へチョコをあげる予定で、最多は中学生の18.0人。
- ◆ 独身女性のチョコ出費総額は3,528.2円と去年より145円増額。本命チョコは予算削、告白チョコ・自分チョコは予算増。
- ◆ 女子中学生は、1カ月のお小遣い(2,268.5円)よりもチョコ出費(2,724.8円)が高。それだけ大事なビッグイベントに。

III.2013年 友チョコの実態



p10

- ♥ バレンタインデーのチョコ、もらいたい相手は「女友達」(70.0%)がトップ。
- ♥ 83.0%が友チョコをあげたいと思い、88.0%がもらいたいと希望。女友達にあげる予定は11.1人、もらいたいのは9.8人。中高生や彼氏のいない女子は友チョコに特に高い意向アリ。大人数で盛り上がりたい「チョコ・フェス」に。
- ♥ 中学生の友チョコ価格、あげるのは392.2円、もらいたいのは265.9円とプチプラ。高校生や彼氏のいない人も同様の傾向。
- ♥ 小学生の子どもがチョコをあげるのは「パパ」(81.7%)が一番。でも、中学生になると「女の子の友達」(93.6%)がトップ。
- ♥ 中学生の子どもが友チョコ始めたのは約4年前、小学生は2.5年前から。友チョコは小学時代に始まり、中学で本格化。

IV.2013年 家族のバレンタインデー[ママチョコ][ファミチョコ]



p13

- ◆ ママのバレンタインは「夫」(95.0%)がいちばん！ママたちの約半数(46.5%)が娘に負けじとデコチョコにチャレンジ。
- ◆ 話題のキャラチョコ。ママたちの4割が作ってみたいと意欲的。愛しい我が子に作ってあげたい(90.9%)。
- ◆ 家族間でバレンタインチョコを贈り合う「ファミチョコ」。実践意欲は87.0%、中学生(96.0%)とママ(95.0%)が積極的。
- ◆ ファミチョコ予算は1人あたり931.9円。ママは1,381.6円と高額出費もいとわない。

V.これからのバレンタイン予想



p15

- ♥ バレンタインをきっかけに「チョコ料理」(23.8%)を食べたり、「チョコパーティー」(23.0%)をしたり、チョコイベントが盛んに。
- ♥ チョコパーティーは約4割が「今後もやりたい」(39.5%)。パーティーの相手は「彼氏」(16.8%)より「女友達」(31.5%)がいい。
- ♥ バレンタインは「恋人を作る日」(10.5%)というより「感謝の気持ちを伝える日」(41.3%)。
- ♥ バレンタインにチョコを介したコミュニケーションをする「チョココミュニケーション」に7割(70.5%)が賛成。
- ♥ 中学生にとっては、「お正月」(13.0%)より「バレンタイン」(32.0%)の方が重要度が高い。
- ♥ 自分で作ったチョコ画像をSNSにUPや、新たなWEBサービスを利用した楽しみ方も。



去年
2012

去年のバレンタイン、告白より女友達への“友チョコ”を重視。

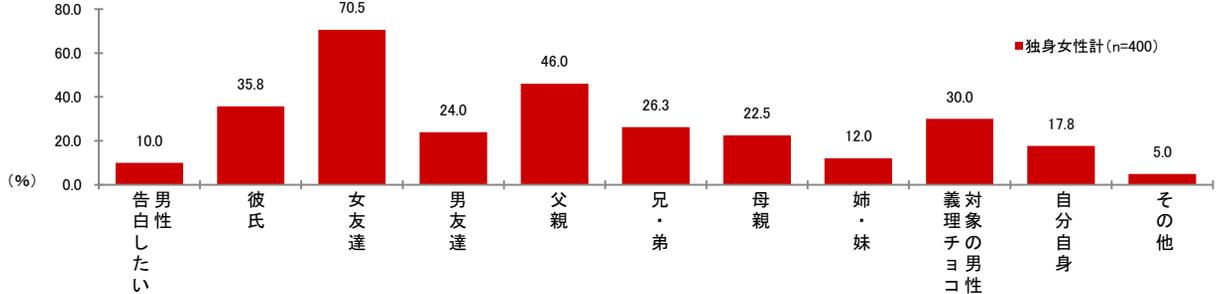
10代・20代の女性にとって去年のバレンタインデーは、「彼氏」(35.8%)や「告白したい男性」(10.0%)より、「女友達」(70.5%)にチョコレートを贈った日。あげた人数は1人平均13.4人、友チョコは11.9人。

去年(2012年2月)のバレンタインデーにチョコをあげた中学生から会社員までの10代・20代400名の女性に、あげた相手を聞いたところ、「彼氏」(35.8%)や「告白したい男性」(10.0%)よりも「女友達」(70.5%)が圧倒的に多くなっています。OL層でこそ唯一「彼氏」(66.0%)がトップですが、他の世代では「女友達」が圧勝！ 中学生91.0%、高校生93.0%とほとんどの中高生が女友達にチョコをあげる“友チョコ”を実践していました。

バレンタインデーといえば、女性が男性へチョコを渡して愛を告白する日でしたが、「告白したい男性」にチョコをあげた女性はわずか10.0%で最下位。女友達にチョコをあげる“友チョコ”の日にすっかりシフトしています[グラフ1]。

また、チョコをあげた総人数は1人平均13.4人で、「女友達」(11.9人)がいちばん多く、次いで「義理チョコ対象の男性」(6.4人)の順。友チョコをいちばん多くあげているのは中学生で、チョコ総数の18.6人中14.4人は友チョコが占めています[グラフ2]。

グラフ1)去年(2012年)のバレンタインにチョコをあげた相手

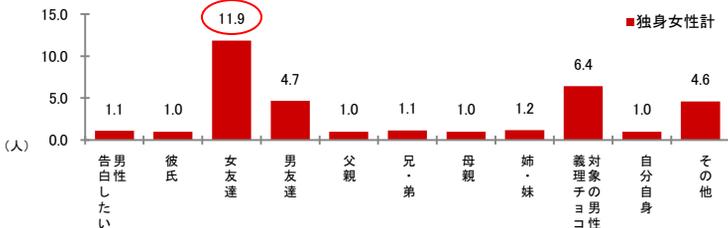


独身女性計 (n=400)	告白したい男性	彼氏	女友達	男友達	父親	兄・弟	母親	姉・妹	義理チョコ対象の男性	自分自身	その他
中学生 (n=100)	13.0	10.0	91.0	32.0	68.0	43.0	36.0	20.0	25.0	28.0	7.0
高校生 (n=100)	8.0	20.0	93.0	26.0	48.0	34.0	26.0	12.0	25.0	19.0	4.0
大学生 (n=100)	14.0	47.0	67.0	26.0	36.0	17.0	16.0	11.0	29.0	13.0	6.0
会社員 (n=100)	5.0	66.0	31.0	12.0	32.0	11.0	12.0	5.0	41.0	11.0	3.0
彼氏アリ (n=167)	7.8	78.4	55.1	21.0	31.1	16.8	15.6	9.0	31.1	10.2	2.4
彼氏ナシ (n=233)	11.6	5.2	81.5	26.2	56.7	33.0	27.5	14.2	29.2	23.2	6.9

グラフ2)去年(2012年)のバレンタインにチョコをあげた人数

●あげた相手別人数

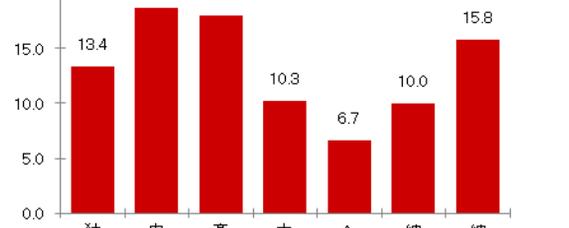
※各相手にチョコをあげた人(回答数)の平均



独身女性計	告白したい男性	彼氏	女友達	男友達	父親	兄・弟	母親	姉・妹	義理チョコ対象の男性	自分自身	その他
中学生	1.0	1.0	14.4	4.5	1.0	1.1	1.0	1.3	6.4	1.0	2.7
高校生	1.0	1.0	14.2	6.2	1.0	1.2	1.0	1.1	5.8	1.0	1.5
大学生	1.3	1.0	8.5	4.0	1.0	1.1	1.0	1.1	6.0	1.0	2.5
会社員	1.0	1.0	4.6	3.3	1.0	1.1	1.0	1.2	7.1	1.0	17.3
彼氏アリ	1.3	1.0	9.4	5.2	1.0	1.1	1.0	1.1	6.3	1.0	2.0
彼氏ナシ	1.0	1.0	13.1	4.4	1.0	1.1	1.0	1.2	6.4	1.0	5.3

●対象者別あげた総人数

●総人数平均(人)



※彼氏、自分自身は、あらかじめ1.0人としてカウント

※彼氏アリ・ナシは調査実施時(2012年12月)のものです

1.2012年バレンタイン実績 チョコにかけた金額とあげた種類

去年
2012

去年のバレンタイン、チョコレート出費総額は平均3,383.2円。

一点豪華な本命チョコ(1,840.1円)、同性女子にはリーズナブル(友チョコ411.7円 姉妹チョコ383.2円)に。

あげるのは市販のチョコ菓子などを自分らしくアレンジした“デコチョコ”(76.0%)が主流。

10代・20代の独身女性が去年のバレンタイン・チョコにかけた金額は、総額で3,383.2円で、最も高いのは「彼氏」(1,840.1円)への本命チョコです。「女友達」への友チョコ(411.7円)や「姉・妹」への姉妹チョコ(383.2円)など同世代女子にあげるチョコはリーズナブルな傾向です[グラフ3]。

あげたチョコのタイプは「スーパーやコンビニのチョコ菓子」(13.5%)や「バレンタイン用チョコ」(11.8%)、「チョコレート専門店のチョコ」(17.5%)など市販のチョコをそのまま渡す人は少なく、スーパーやコンビニエンスストアなどで販売している市販のチョコ菓子などを自分らしくアレンジするデコチョコ派が約8割(76.0%)と主流です。特に、中学生では88.0%、高校生では90.0%と、中高生のバレンタイン・チョコはひと手間かけたデコチョコがもはや常識となっています[グラフ4]。

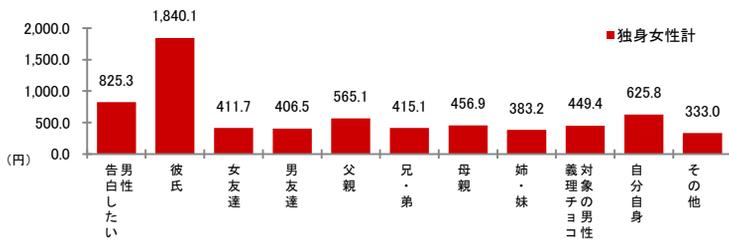


デコチョコとは、スーパーやコンビニエンスストアなどで販売している市販のチョコ菓子などを自分らしくアレンジしてデコレーションしたものです。

グラフ3)去年(2012年)のバレンタイン・チョコにかけた一人あたりの金額と総額

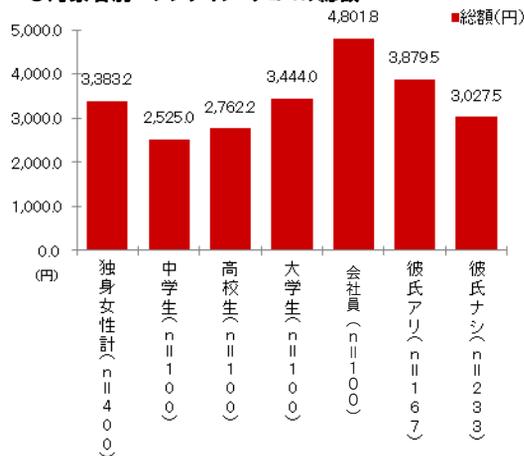
●あげた相手別一人あたりのバレンタイン・チョコの金額

※各相手にチョコをあげた人(回答数)の平均

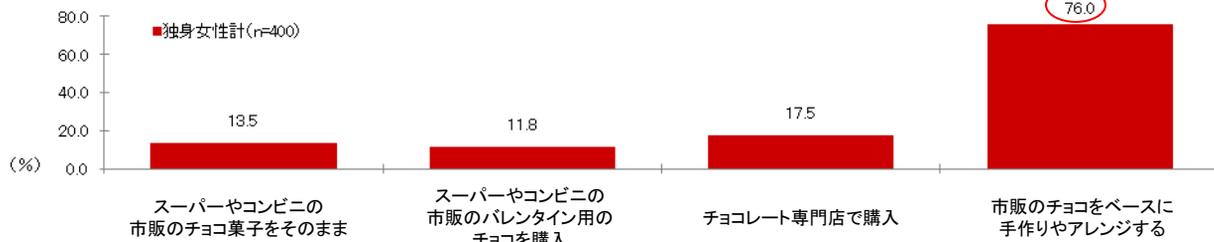


相手	独身女性計	中学生	高校生	大学生	会社員	彼氏アリ	彼氏ナシ
告白したい	825.3	514.6	515.0	814.3	2160.0	1084.6	700.4
彼氏	1840.1	650.0	1057.5	1893.6	2219.4	1933.1	825.0
女友達	411.7	402.5	314.8	469.9	603.2	506.8	365.6
男友達	406.5	367.0	279.8	407.7	783.3	348.3	439.8
父親	565.1	351.3	360.2	665.3	1214.1	702.3	511.1
兄・弟	415.1	300.5	255.0	552.9	1145.5	451.8	401.8
母親	456.9	248.5	201.2	496.9	1583.3	478.1	448.4
姉・妹	383.2	305.8	235.8	404.5	1000.0	548.7	308.0
義対理象の男性	449.4	240.0	223.2	356.9	780.5	473.7	430.9
自分自身	625.8	238.9	257.4	565.4	2318.2	540.0	652.8
その他	333.0	308.6	237.5	483.3	216.7	525.0	285.0

●対象者別バレンタイン・チョコの総額



グラフ4)去年(2012年)あげたバレンタイン・チョコのタイプ



タイプ	独身女性計 (n=400)	中学生 (n=100)	高校生 (n=100)	大学生 (n=100)	会社員 (n=100)	彼氏アリ (n=167)	彼氏ナシ (n=233)
スーパーやコンビニの市販のチョコ菓子そのまま	13.5	14.0	13.0	12.0	15.0	11.4	15.0
スーパーやコンビニの市販のバレンタイン用のチョコを購入	11.8	8.0	6.0	16.0	17.0	12.0	11.6
チョコレート専門店で購入	17.5	10.0	4.0	23.0	33.0	24.0	12.9
市販のチョコをベースに手作りやアレンジする	76.0	88.0	90.0	74.0	52.0	71.9	79.0

去年チョコにいちばん気持ちをこめた相手

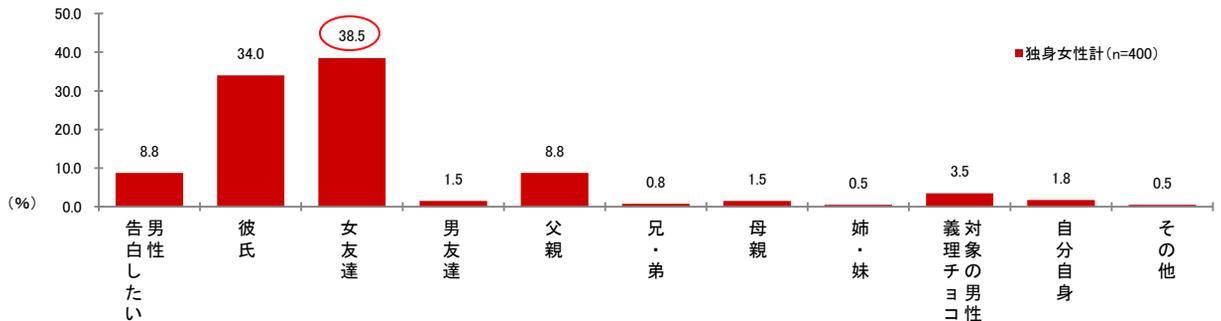
第1位はやっぱり「女友達」。

バレンタインデーは「彼氏」(34.0%)や「告白したい男性」(8.8%)より
「女友達」(38.5%)に気持ちを込める。

10代・20代の独身女性に、去年のバレンタインで誰へのチョコにいちばん気持ちを込めたかを聞くと、1位に選ばれたのは「女友達」(38.5%)への友チョコで、「彼氏」(34.0%)や「告白したい男性」(8.8%)への本命チョコより気合いが入っています。中高生では「女友達」へのチョコに最も気持ちを込めたと答える割合が約6割(中学生53.0%/高校生59.0%)にのぼっており、ティーンにとってのバレンタインデーは、彼氏や告白などの恋愛モードより、友達との友情モードが重視されていることがここからもわかります。

これを彼氏の有無別にみると、彼氏のいる女性では「彼氏」(75.4%)への本命チョコがいちばんですが、彼氏のいない女性の場合、「告白したい男性」(11.2%)ではなく「女友達」(55.8%)がいちばんとなり、恋愛より友情が優先されています。[グラフ5]。

グラフ5)去年(2012年)のバレンタインでいちばん気持ちをこめた相手



	告白したい男性	彼氏	女友達	男友達	父親	兄・弟	母親	姉・妹	義理チョコ男性	自分自身	その他
■独身女性計 (n=400)	8.8	34.0	38.5	1.5	8.8	0.8	1.5	0.5	3.5	1.8	0.5
中学生 (n=100)	13.0	10.0	53.0	2.0	13.0	1.0	3.0	1.0	2.0	2.0	0.0
高校生 (n=100)	8.0	19.0	59.0	0.0	10.0	0.0	0.0	1.0	0.0	2.0	1.0
大学生 (n=100)	9.0	43.0	33.0	3.0	7.0	1.0	1.0	0.0	2.0	1.0	0.0
会社員 (n=100)	5.0	64.0	9.0	1.0	5.0	1.0	2.0	0.0	10.0	2.0	1.0
彼氏アリ (n=167)	5.4	75.4	14.4	0.0	1.8	0.6	0.6	0.0	1.8	0.0	0.0
彼氏ナン (n=233)	11.2	4.3	55.8	2.6	13.7	0.9	2.1	0.9	4.7	3.0	0.9



1.2012年バレンタイン実績 女性がもらうチョコ

去年
2012

今どきバレンタインデーは、彼氏がいない方が盛り上がる？

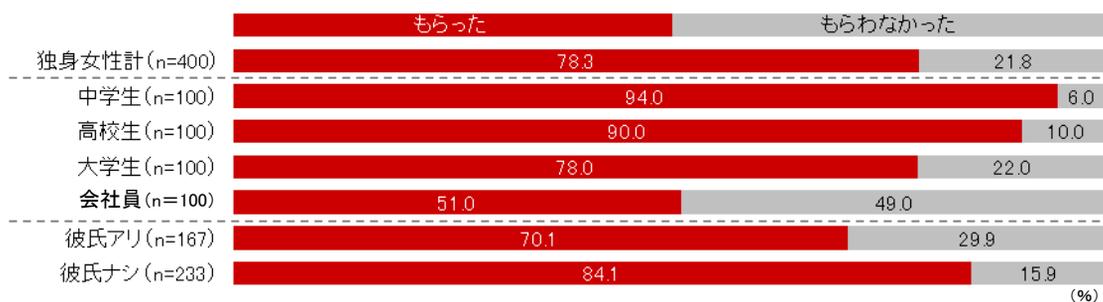
彼氏のいない女性はいる女性の2倍チョコをゲット。

彼氏のいない女性は10.8人からと、いる女性(5.8人)の2倍チョコをもらっている。

「女友達」(92.7%)からもらうチョコが圧倒的に多く、女子同士で楽しくバレンタインを過ごす。

友チョコが主流の昨今のバレンタインデー。10代・20代の独身女性に去年バレンタインデーにチョコをもらったか聞くと、全体では約8割(78.3%)が、中学生は94.0%、高校生は90.0%がチョコをもらっています[グラフ6]。もらった人数は平均で8.7人、中学生で13.9人と最多で、彼氏ナシ(10.8人)の女性は彼氏アリ(5.8人)の女性より約2倍の人からチョコをもらっています[グラフ7]。もらう相手は「女友達」(92.7%)が圧倒的で[グラフ8]、1人平均10.5人の女友達から友チョコをもらっています。女友達同士にぎやかにバレンタインのチョコ交換をして楽しんでいる様子が浮かびます[グラフ8]。

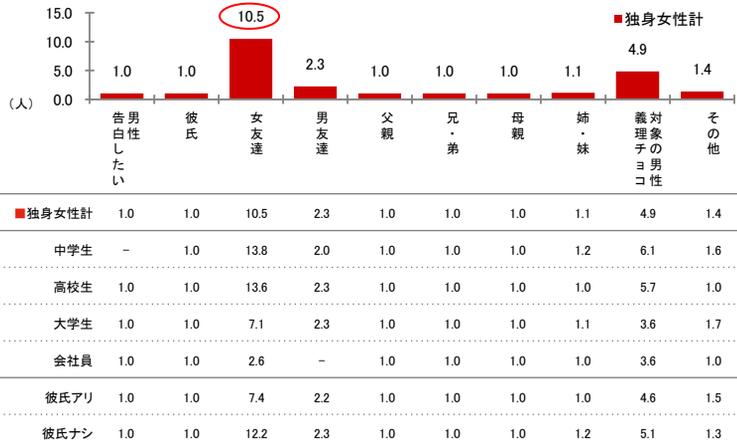
グラフ6)去年(2012年)のバレンタインでチョコをもらったか



グラフ7)去年(2012年)のバレンタインにチョコをもらった人数

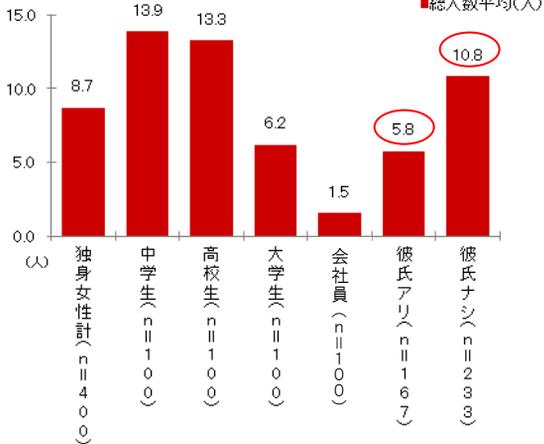
●もらった相手別人数

※各相手にチョコをもらった人(回答があった人数)の平均

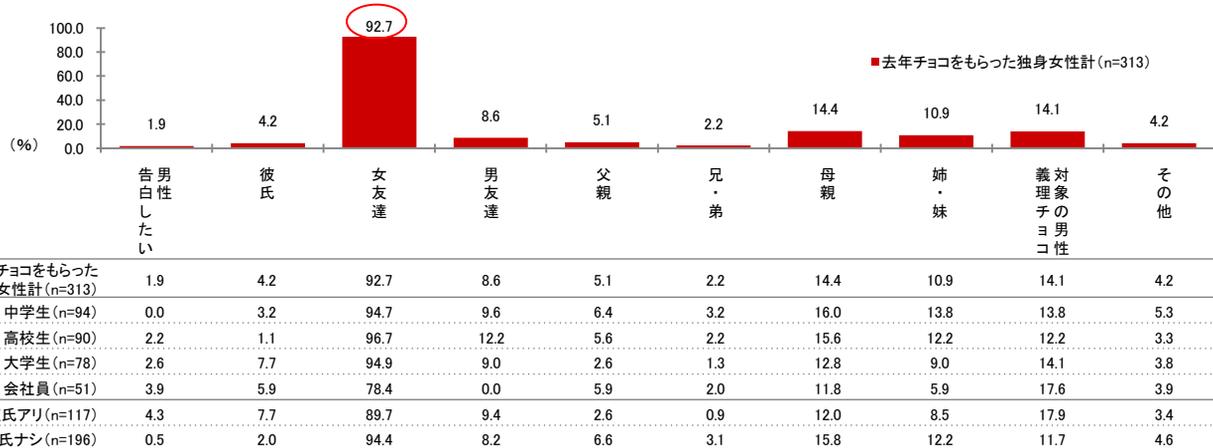


●対象者別もらった総人数

■総人数平均(人)



グラフ8)去年(2012年)のバレンタインにチョコをもらった相手





バレンタインは

女子同士デコチョコを贈り合う習慣としてすっかり定着。

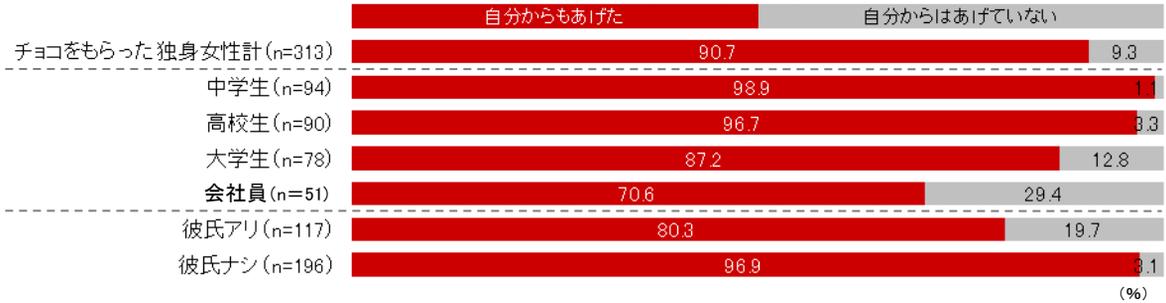
チョコをもらった相手にお返しチョコをあげる“贈り合い(愛)”を、9割(90.7%)が実践。

10代・20代の独身女性で、チョコをもらった女性がもらった相手にチョコをあげるお返しチョコの習慣は90.7%と高く、中学生(98.9%)、高校生(96.7%)ではほぼ全員がチョコのお返しを実践しています[グラフ9]。

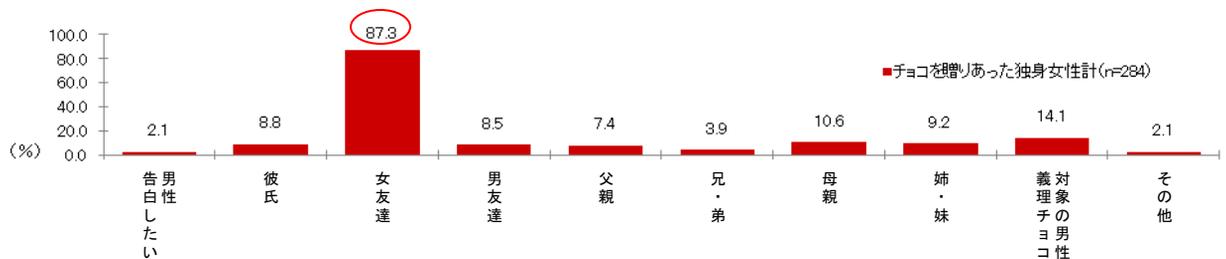
また、チョコをお互いに贈り合う“贈り合い(愛)”の相手は「女友達」(87.3%)が圧倒的に多く、中学生では93.5%、高校生では92.0%、彼氏ナンでは91.6%が女友達同士のチョコの贈り合いを実践しています[グラフ10]。

もらったチョコはあげたチョコと同様、スーパーやコンビニエンスストアなどで販売している市販のチョコ菓子などを自分らしくアレンジした「デコチョコ」が主流(76.4%)で、中学生89.4%、高校生88.9%が手作りのデコチョコをもらっています[グラフ11]。

グラフ9)去年(2012年)のバレンタインで、チョコをもらった人に自分からもチョコをあげたか

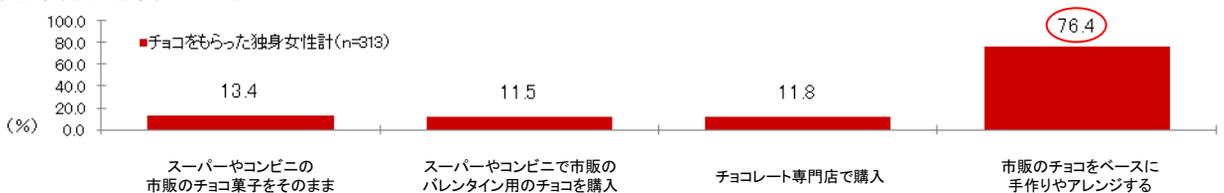


グラフ10)去年(2012年)のバレンタインで、チョコを贈り合った相手



	告白したい	彼氏	女友達	男友達	父親	兄弟	母親	姉妹	義理チョコの男性	その他
チョコを贈りあった独身女性計 (n=284)	2.1	8.8	87.3	8.5	7.4	3.9	10.6	9.2	14.1	2.1
中学生 (n=93)	1.1	3.2	93.5	7.5	9.7	4.3	14.0	11.8	12.9	1.1
高校生 (n=87)	1.1	6.9	92.0	9.2	9.2	5.7	9.2	8.0	12.6	2.3
大学生 (n=68)	4.4	10.3	85.3	10.3	1.5	1.5	5.9	7.4	16.2	4.4
会社員 (n=36)	2.8	25.0	63.9	5.6	8.3	2.8	13.9	8.3	16.7	0.0
彼氏アリ (n=94)	3.2	23.4	78.7	12.8	3.2	2.1	6.4	7.4	17.0	2.1
彼氏ナン (n=190)	1.6	1.6	91.6	6.3	9.5	4.7	12.6	10.0	12.6	2.1

グラフ11)去年(2012年)もらったバレンタイン・チョコのタイプ



	スーパーやコンビニの市販のチョコ菓子をそのまま	スーパーやコンビニで市販のバレンタイン用のチョコを購入	チョコレート専門店で購入	市販のチョコをベースに手作りやアレンジする
チョコをもらった独身女性計 (n=313)	13.4	11.5	11.8	76.4
中学生 (n=94)	8.5	7.4	7.4	89.4
高校生 (n=90)	14.4	8.9	11.1	88.9
大学生 (n=78)	15.4	11.5	10.3	73.1
会社員 (n=51)	17.6	23.5	23.5	35.3
彼氏アリ (n=117)	14.5	18.8	13.7	67.5
彼氏ナン (n=196)	12.8	7.1	10.7	81.6



今年
2013

今年のバレンタインでチョコをあげたい人は「女友達」が第1位。 2位はパパチョコで、「ファミチョコ」もますます浸透。

今年のバレンタインデーも「女友達」(68.5%)が最重要。1人平均11.1人の女友達へ友チョコプレゼント予定。

2位は「彼氏」(38.0%)や「告白したい男性」(10.3%)を押し分け、「パパ」(44.3%)が奪取。

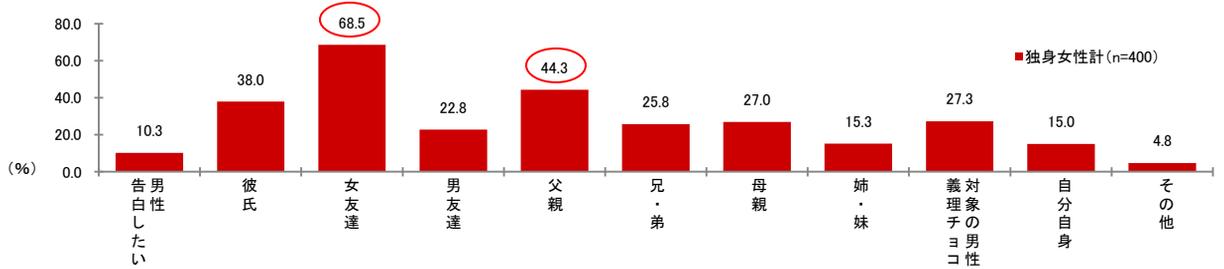
娘の2人に1人がパパチョコを实践、「ファミチョコ」もすっかり浸透。

次に、10代・20代の独身女性に、今年(2013年2月)のバレンタインデーの計画について聞きました。

今年、チョコをあげる予定の相手もやはり「女友達」(68.5%)がトップで、中学生(90.0%)や高校生(89.0%)、彼氏なし(83.3%)で特に高く、「友チョコ」は一時のブームではなく、習慣として定着しています。2位に選ばれたのは「父親」(44.3%)で、「彼氏」(38.0%)や「告白したい男性」(10.3%)より高く、娘の2人に1人はパパにチョコをあげる予定です。家族とチョコレートを贈ったり、もらったりする「ファミチョコ」が浸透しつつあることがわかります[グラフ12]。

なお、チョコをあげる予定の総人数は平均で12.9人で、中学生は18.0人と最多。あげる相手は、「女友達」が11.1人といちばん多く、中学生13.8人、高校生13.5人の女友達へチョコをあげる予定です。また、彼氏ナシの女子も12.5人へ友チョコをあげる予定で、彼氏アリの女子(7.8人)より4人以上多くなる予定です[グラフ13]。

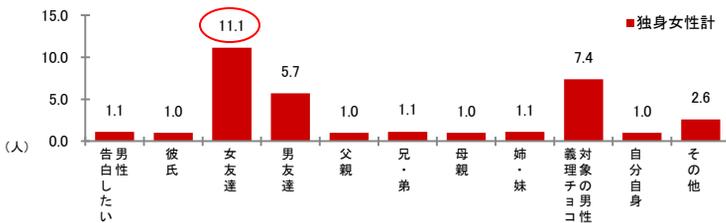
グラフ12)今年(2013年)のバレンタインにチョコをあげる予定の相手



相手	独身女性計 (n=400)	中学生 (n=100)	高校生 (n=100)	大学生 (n=100)	会社員 (n=100)	彼氏アリ (n=167)	彼氏ナシ (n=233)
告白したい	10.3	17.0	6.0	9.0	9.0	6.0	13.3
彼氏	38.0	5.0	27.0	53.0	67.0	91.0	0.0
女友達	68.5	90.0	89.0	66.0	29.0	47.9	83.3
男友達	22.8	26.0	24.0	30.0	11.0	18.6	25.8
父親	44.3	59.0	46.0	39.0	33.0	32.9	52.4
兄・弟	25.8	42.0	31.0	20.0	10.0	16.8	32.2
母親	27.0	38.0	29.0	27.0	14.0	21.6	30.9
姉・妹	15.3	21.0	13.0	18.0	9.0	13.2	16.7
義対 理 対 象 の 男 子 性	27.3	21.0	18.0	27.0	43.0	28.1	26.6
自分 自 身	15.0	15.0	21.0	15.0	9.0	9.0	19.3
その他	4.8	12.0	3.0	1.0	3.0	2.4	6.4

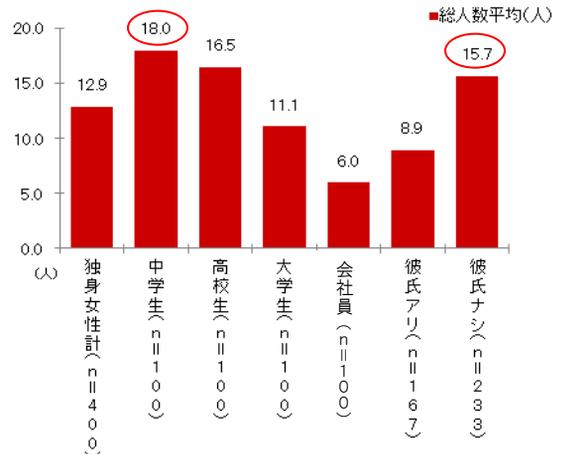
グラフ13)今年(2013年)のバレンタインにチョコをあげる予定の人数

●あげる予定の相手別人数
※各相手にチョコをあげる人(回答数)の平均



相手	独身女性計	中学生	高校生	大学生	会社員	彼氏アリ	彼氏ナシ
告白したい	1.1	1.1	1.0	1.3	1.0	1.3	1.0
彼氏	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-
女友達	11.1	13.8	13.5	7.4	3.8	7.8	12.5
男友達	5.7	5.4	5.2	7.3	3.3	7.5	4.8
父親	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
兄・弟	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1
母親	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
姉・妹	1.1	1.2	1.0	1.0	1.1	1.0	1.1
義対 理 対 象 の 男 子 性	7.4	8.0	7.2	7.8	6.9	6.6	8.0
自分 自 身	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
その他	2.6	3.1	2.3	2.0	1.0	1.3	2.9

●対象者別あげる予定の総人数





独身女性の 今年のチョコレート出費予定額は平均で3,528.2円。

去年よりも145円の予算UP！

特に自分に贈る「自分チョコ」予算は228.9円UPと、ごほうび投資にお金を惜しまない。

女子中学生は全体予算がお小遣いを500円近く超えるなど、バレンタインに気合十分。

10代・20代の独身女性が今年のバレンタイン・チョコにかける予定の金額は総額で3,528.2円となり、去年(3,383.2円 グラフ3参照)と比べ145.0円の増額です。これを1か月に自由に使えるお金と比較すると、中学生の場合、月のお小遣い2,268.5円に対し、バレンタインのチョコ出費2,724.8円と約500円(▲456.3円)の予算オーバー。それだけの赤字覚悟で臨むバレンタインは、女子中学生にとってのビッグイベントであることがわかります。

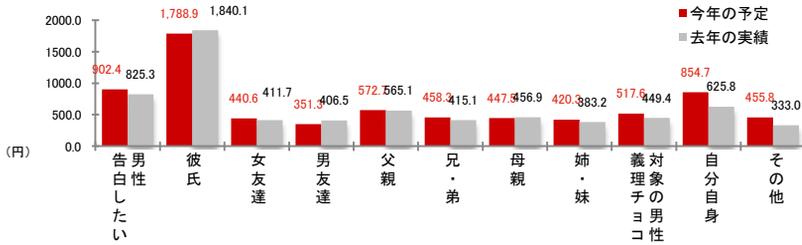
相手別にみると、「彼氏」への本命チョコは51.2円安(去年1,840.1円→今年1,788.9円)と予算縮小に対し、「告白したい男性」への告白チョコは77.1円高(去年825.3円→今年902.4円)と増額傾向。女友達への友チョコ予算は去年411.7円→今年440.6円と、安定しています。最も増減が大きかったのは「自分自身」へあげるごほうびチョコで、去年625.8円→今年854.7円と228.9円増です。自分への投資を惜しまない傾向が強くなっているのでしょうか[グラフ14]。

あげる予定のチョコは去年同様、市販のチョコ菓子を自分らしくアレンジした「デコチョコ」(62.3%)が人気です[グラフ15]。

グラフ14)今年(2013年)のバレンタイン・チョコにかける予定の一人あたり金額と総額

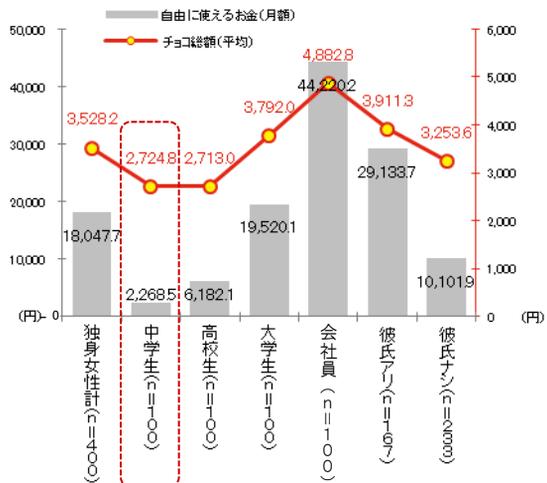
●あげる予定の相手別一人あたりのバレンタイン・チョコの金額

※各相手にチョコをあげる予定の人(回答数)の平均

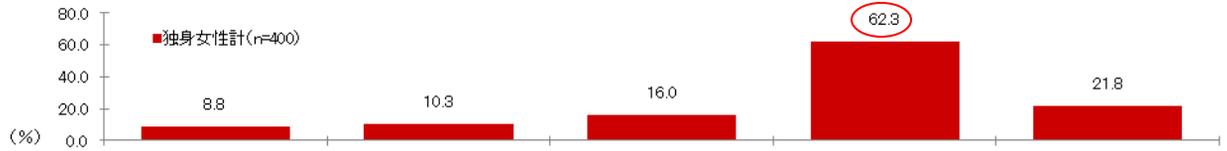


	告白したい男性	彼氏	女友達	男友達	父親	兄弟	母親	姉・妹	義理チョコ男性	自分自身	その他
独身女性計	902.4	1788.9	440.6	351.3	572.7	458.3	447.5	420.3	517.6	854.7	455.8
中学生	641.2	560.0	392.2	307.7	319.7	314.3	255.4	505.3	352.9	244.2	450.9
高校生	350.0	1044.0	373.1	221.7	451.1	297.1	324.8	159.2	239.4	320.0	250.0
大学生	1166.7	1980.2	519.7	375.0	696.2	635.0	496.3	353.1	348.1	560.0	500.0
会社員	1500.0	2029.6	617.5	672.7	1048.5	1210.0	1128.6	235.7	820.9	3611.1	666.7
彼氏アリ	1100.0	1788.9	512.1	352.3	680.2	557.1	485.0	321.4	623.4	704.0	450.3
彼氏ナシ	838.7	-	411.0	350.8	524.2	421.5	428.7	461.6	437.4	905.0	457.3

●バレンタイン・チョコの総額と1か月に自由に使える金額比較



グラフ15)今年(2013年)あげる予定のバレンタインチョコのタイプ



	スーパーやコンビニの市販のチョコ菓子をそのまま	スーパーやコンビニで市販のバレンタイン用のチョコを購入	チョコレート専門店で購入	市販のチョコをベースに手作りやアレンジする	まだきめていない
独身女性計 (n=400)	8.8	10.3	16.0	62.3	21.8
中学生 (n=100)	9.0	6.0	6.0	72.0	23.0
高校生 (n=100)	8.0	5.0	8.0	71.0	19.0
大学生 (n=100)	11.0	13.0	19.0	63.0	23.0
会社員 (n=100)	7.0	17.0	31.0	43.0	22.0
彼氏アリ (n=167)	6.0	9.0	24.0	61.7	21.6
彼氏ナシ (n=233)	10.7	11.2	10.3	62.7	21.9



彼氏がなくても楽しめる、バレンタインはもはや女子会化？

バレンタインは女子同士で盛り上がるチョコ・フェス

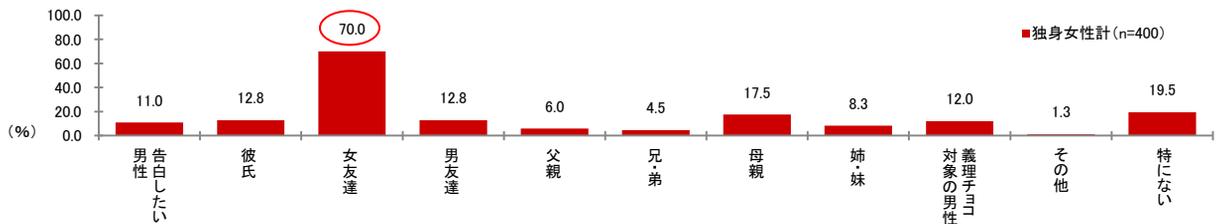
バレンタインデーにチョコをもらいたい相手は、絶対「女友達」。中高生や、彼氏がいない人は特に重視。

彼氏がなくてもたくさんの女友達と贈り合い、盛り上がりたい。

バレンタインのメインイベントになりつつある友チョコ。その実態について、さらに詳しく見てみました。

まず、男女を問わずチョコをもらいたい相手を聞くと、やはり「女友達」(70.0%)がトップとなり、「中学生」(88.0%)や高校生(84.0%)、「彼氏ナシ」(79.8%)で特に友チョコが重視されています[グラフ16]。もらいたい相手は「女友達」(9.8人)が最多で、やはり中学生(12.9人)・高校生(12.6人)・彼女ナシ(11.2人)で特に多数。あげる予定と同様、彼氏アリの女子(7.1人)より4人以上多くなる予定です。女友達からの友チョコに限らず、もらいたい総人数は平均で8.6人で、彼氏ナシ(11.2人)の女性は彼氏アリ(5.1人)の女性と比べ2倍以上の人からチョコをもらいたいと考えおり、彼氏がなくても、女友達とチョコの贈り合いなどをして盛り上がりたいたいと考えている様子がわかります[グラフ17]。これからのバレンタインは、恋愛記念日というよりも、気の合う仲間が集まってチョコで盛り上がる“チョコ・フェス化”していきそうです。

グラフ16)今年(2013年)のバレンタインにチョコをもらいたい相手

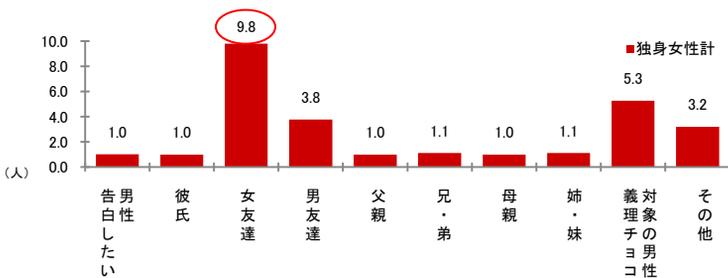


相手	独身女性計 (n=400)	中学生 (n=100)	高校生 (n=100)	大学生 (n=100)	会社員 (n=100)	彼氏アリ (n=167)	彼氏ナシ (n=233)
男性 告白したい	11.0	13.0	13.0	10.0	8.0	7.8	13.3
彼氏	12.8	3.0	10.0	22.0	16.0	29.9	0.4
女友達	70.0	88.0	84.0	74.0	34.0	56.3	79.8
男友達	12.8	21.0	13.0	12.0	5.0	4.8	18.5
父親	6.0	14.0	7.0	1.0	2.0	2.4	8.6
兄弟	4.5	6.0	9.0	2.0	1.0	2.4	6.0
母親	17.5	26.0	20.0	18.0	6.0	11.4	21.9
姉・妹	8.3	14.0	10.0	7.0	2.0	4.2	11.2
対象の男性	12.0	16.0	9.0	15.0	8.0	10.2	13.3
その他	1.3	3.0	1.0	0.0	1.0	1.2	1.3
特にない	19.5	10.0	7.0	18.0	43.0	26.3	14.6

グラフ17)今年(2013年)のバレンタインにチョコをもらいたい人数

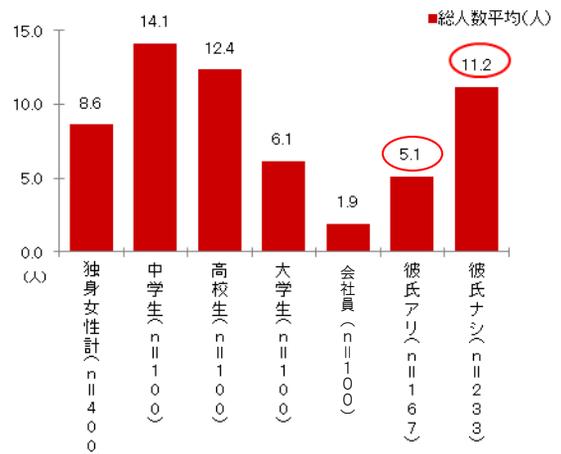
●もらいたい相手別人数

※各相手にチョコをもらいたい人(回答数)の平均



相手	独身女性計 (n=400)	中学生 (n=100)	高校生 (n=100)	大学生 (n=100)	会社員 (n=100)	彼氏アリ (n=167)	彼氏ナシ (n=233)
男性 告白したい	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0
彼氏	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
女友達	9.8	12.9	12.6	6.1	3.1	7.1	11.2
男友達	3.8	4.1	4.8	2.9	2.0	2.9	4.0
父親	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
兄弟	1.1	1.0	1.2	1.0	1.0	1.0	1.1
母親	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
姉・妹	1.1	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2
対象の男性	5.3	6.3	5.0	4.4	5.1	3.8	6.1
その他	3.2	4.3	2.0	-	1.0	1.0	4.7

●対象者別もらいたい総人数





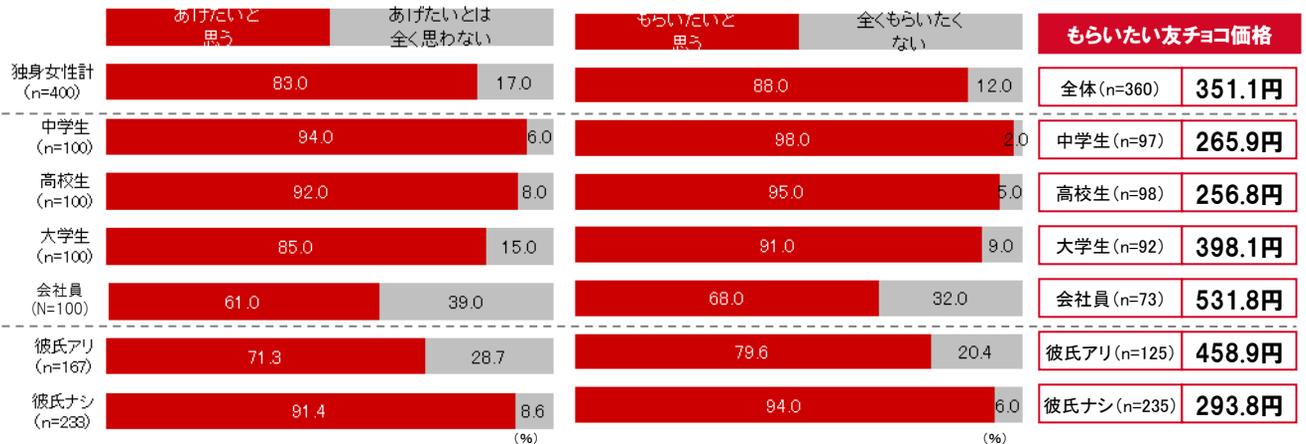
友チョコは、たくさん贈る層ほど、 もらうものもプチ・プライス重視。

友チョコを贈り合うのが重要。贈り合い(愛)で「盛り上がり」、「友情を深め」たい。

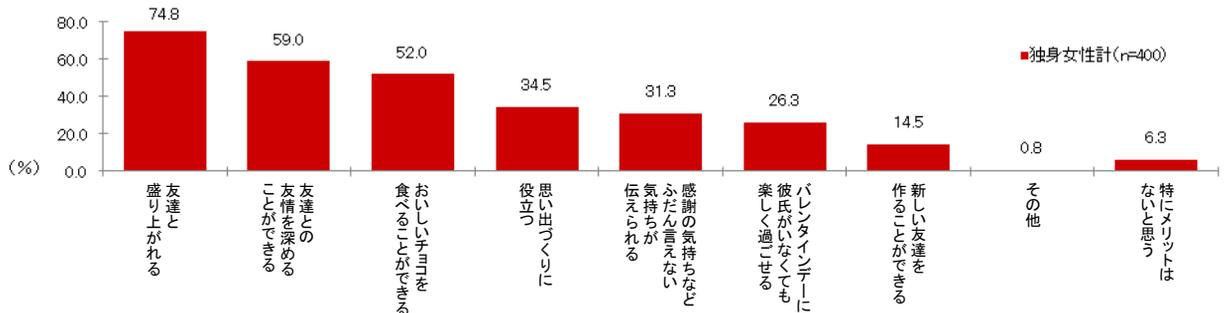
今年のバレンタインデーの友チョコ交換予定について聞くと、83.0%が友チョコをあげたいと思ひ、88.0%が友チョコをもらいたいと思っています。もらいたい友チョコの価格は、中学生が平均で265.9円、高校生が256.8円、彼氏ナシが293.8円と低額。自分があげる友チョコ価格(中学生392.2円 高校生373.1円 彼氏ナシ411.0円、グラフ14参照)よりもロープライスで、お互いの負担とならないプチプラが友チョコルールとなっているようです[グラフ18]。

また、女子同士で友チョコを贈り合うことのメリットを聞くと、「友達と盛り上げられる」(74.8%)、「友達との友情を深めることができる」(59.0%)、「おいしいチョコを食べることができる」(52.0%)の順。バレンタインデーは、女友だちと一緒に盛り上がり、友チョコの交換で友情を深める記念日へとシフトしつつあることが、ここからも分かります[グラフ19]。

グラフ18)今年(2013年)のバレンタインで女友達にチョコをあげたい・もらいたい/もらいたい友チョコ価格



グラフ19)女友達同士で友チョコを贈り合うメリット



メリット	独身女性計 (n=400)	中学生 (n=100)	高校生 (n=100)	大学生 (n=100)	会社員 (n=100)	彼氏アリ (n=167)	彼氏ナシ (n=233)
友達と盛り上げられる	74.8	85.0	72.0	85.0	57.0	71.3	77.3
友達との友情を深めることができる	59.0	72.0	67.0	57.0	40.0	50.3	65.2
おいしいチョコを食べることができる	52.0	64.0	47.0	59.0	38.0	44.9	57.1
思い出づくりに役立つ	34.5	45.0	33.0	43.0	17.0	31.1	36.9
感謝の気持ちなどふだん言えない気持ちがある	31.3	28.0	30.0	41.0	26.0	33.5	29.6
バレンタインデーに彼氏がいなくても楽しく過ごせる	26.3	33.0	35.0	24.0	13.0	17.4	32.6
新しい友達を作ることができる	14.5	20.0	17.0	11.0	10.0	13.8	15.0
その他	0.8	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.3
特にメリットはないと思う	6.3	4.0	5.0	1.0	15.0	7.8	5.2

「友チョコ」は小学生の頃に始まり、中学生で本格化。

小学生でも9割がデコチョコ派。中学生になると、パパより女子友を優先！

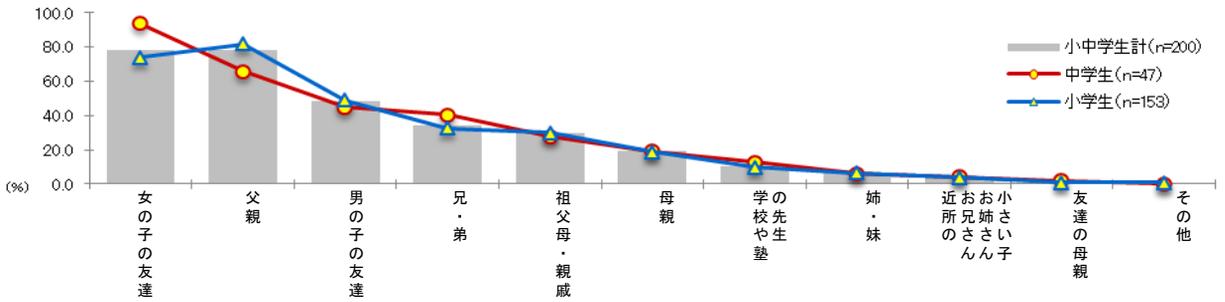
ところで、「友チョコ」は一体いつから定着してきたのでしょうか？ 長子が小中学生の女の子の母親に、今どきの小中学生のバレンタイン事情を聞いてみました。

今年(2013年)のバレンタインに小中学生の娘さんがチョコをあげる相手は「女の子の友達」(78.5%)がトップで、僅差で「父親」(78.0%)となっています。小学生では「父親」(81.7%)がトップですが、中学生になると父親(66.0%)は「女の子の友達」(93.6%)に完敗してしまいます[グラフ20]。

女の子の友達にあげるチョコのタイプは、市販のチョコをベースにひと手間かけて自分らしくアレンジした「デコチョコ」派(87.3%)が主流で、小学生でも90.3%がデコしています[グラフ21]。

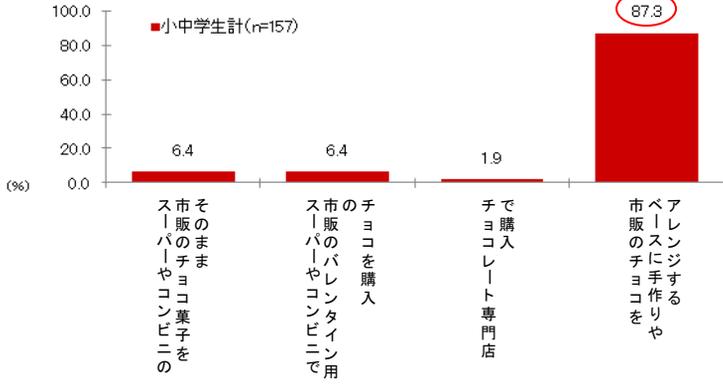
また、何年前から女の子のお友達にチョコをあげているかを聞くと、中学生が3.9年前、小学生が約2.6年前となり、友チョコは「小学生から」始まるのが一般的で、中学生になるとさらに本格化するようです[グラフ22]。

グラフ20)小・中学生のお子さんが今年のバレンタインデーでチョコをあげる相手



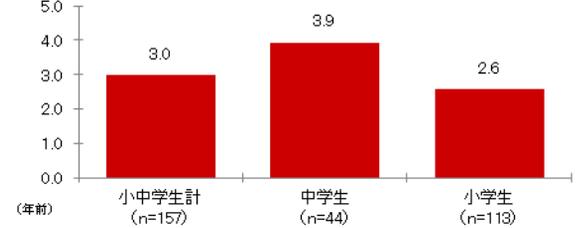
■小中学生計(n=200)	78.5	78.0	48.0	34.5	29.5	19.0	10.5	6.5	4.0	1.0	0.5
○中学生(n=47)	93.6	66.0	44.7	40.4	27.7	19.1	12.8	6.4	4.3	2.1	0.0
△小学生(n=153)	73.9	81.7	49.0	32.7	30.1	19.0	9.8	6.5	3.9	0.7	0.7

グラフ21)お子さんが女の子の友達にあげる予定のバレンタイン・チョコのタイプ



■小中学生計(n=157)	6.4	6.4	1.9	87.3
中学生(n=44)	9.1	2.3	2.3	79.5
小学生(n=113)	5.3	8.0	1.8	90.3

グラフ22)女の子の友達に何年前からバレンタインデーに友チョコをあげていたか



ママたちは今年もデコチョコで

「夫」(95.0%)や「子ども」(69.0%)に“ファミチョコ”プレゼント。

話題の「キャラチョコ」も、子どものために作ってみたい。小学生ママの過半数が関心あり。

次に、子どものことではなく、ママたち(小中学生の女の子を持つ母親200人(30代・40代各100人)に、自分自身のバレンタインについて聞きました。

バレンタイン・チョコをあげる相手は、「夫」(95.0%)がダントツ1位で、次いで「子ども」が約7割(69.0%)で続いています。ママはやはり家族に贈る「ファミチョコ」ニーズが高いようです[グラフ23]。今年あげる予定のチョコのタイプは、スーパーやコンビニエンスストアなどで販売している市販のチョコ菓子などを自分らしくアレンジする「デコチョコ」が約半数(46.5%)と最多。子どもたちだけでなく、ママにもデコチョコ文化が浸透しています[グラフ24]。

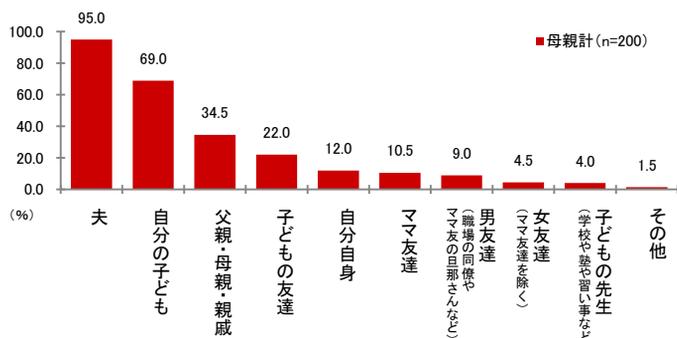
最近、デコチョコから進化した、チョコレートでキャラクターを描く「キャラチョコ」も流行っていますが、ママたちの1割(9.0%)は早くもキャラチョコ経験者で、4割が「作ったことはないが作ってみたい」(40.5%)と興味を示しています。

特に小学生の子どもを持つママは約半数が「作ってみたい」(44.4%)と制作意向が高く、キャラチョコ経験者も含めると、過半数(51.6%)がキャラチョコに関心を持っています[グラフ25]。

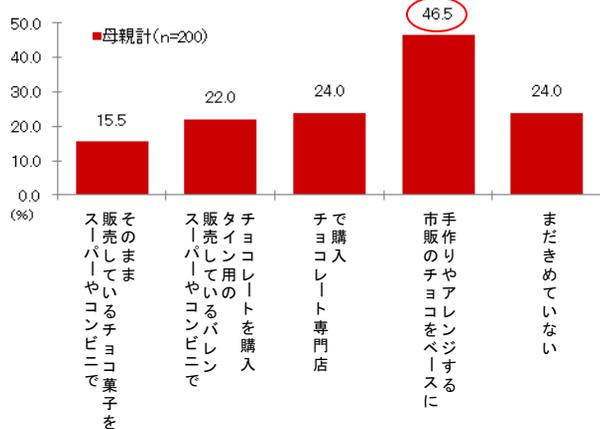
なお、キャラチョコを作ってあげたい相手は「自分の子ども」(90.9%)がトップ。子どものために手間暇かけて作るキャラ弁と同じように、子どものために、子どもが喜ぶキャラチョコを作ってあげたい…。そんな親心が感じられます[グラフ26]。



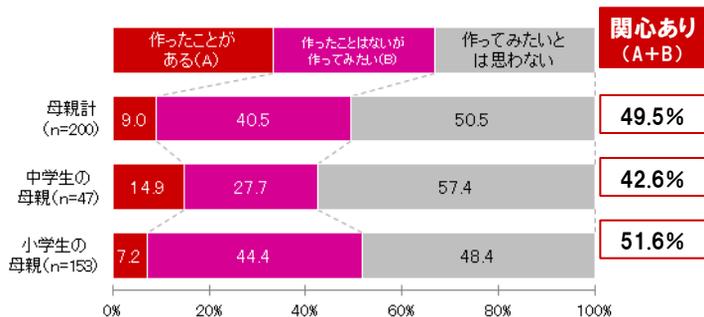
グラフ23 今年(2013年)のバレンタインにチョコをあげる相手



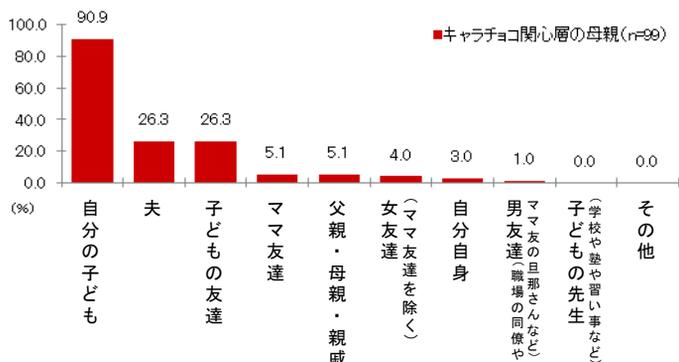
グラフ24 今年(2013年)あげる予定のバレンタイン・チョコのタイプ



グラフ25 キャラチョコ経験



グラフ26 誰にキャラチョコを作ってあげたいか





今年、家族同士でチョコを贈る“ファミチョコ”

予定のある家庭は9割。

デコチョコで気持ちを伝え、専門店のチョコでおいしさを堪能する。

ファミチョコなら、バレンタインのいいところ取りも叶います。

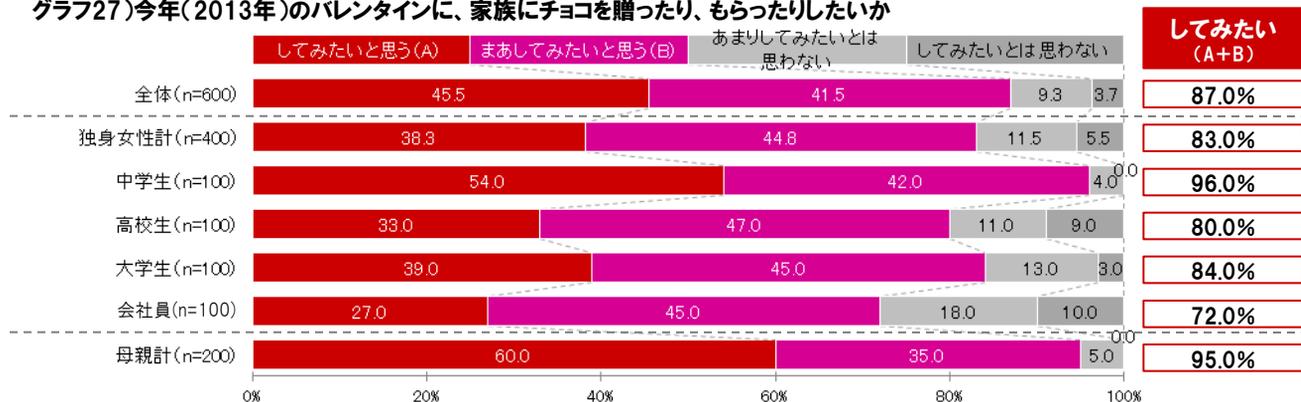
友チョコに続き、最近増えているのがバレンタインデーに家族間でチョコを贈り合う「ファミチョコ」です。

今年のバレンタインのファミチョコ意向を聞くと、約9割がファミチョコ意向があり(してみたい45.5%+まあしてみたい41.5%=87.0%)、中学生(96.0%)と母親(95.0%)のファミチョコ意向は特に高くなっています[グラフ27]。

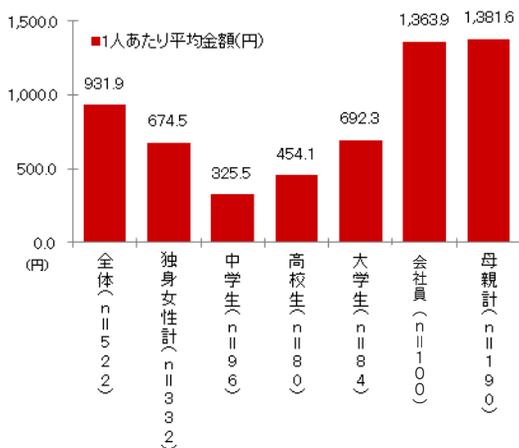
家族とチョコの贈り合いをする予定の人(522人)にその予算を聞くと、全体平均で931.9円となり、年代に伴ってかける金額も高くなっています[グラフ28]。

また、家族に贈りたいチョコは「市販のチョコをアレンジした」(66.0%)デコチョコが人気ですが、もらいたいチョコは「チョコレート専門店のチョコレート」(45.2%)の方がデコチョコ(41.2%)よりやや優位[グラフ29]。自分でアレンジしたデコチョコで思いを伝えるのも、おいしいチョコを食べるのも、どちらも満たしたいバレンタイン。そんなわがママが通るのも、家族間のファミチョコならではのメリットかもしれません。

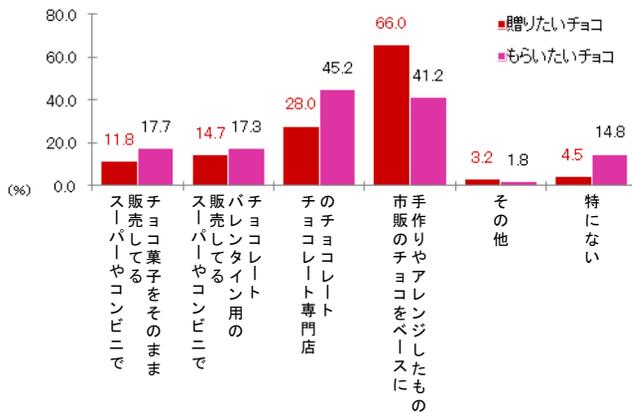
グラフ27)今年(2013年)のバレンタインに、家族にチョコを贈ったり、もらったりしたいか



グラフ28)家族とのバレンタインにかける金額



グラフ29)家族に贈りたいチョコ・もらいたいチョコ



対象	贈りたい		もらいたい		その他	
	贈りたい	もらいたい	贈りたい	もらいたい	その他	特になし
全体(n=600)	11.8	17.7	14.7	17.3	28.0	66.0
独身女性計(n=400)	10.8	12.0	26.8	64.8	2.5	6.0
母親計(n=200)	14.0	13.0	20.0	68.5	4.5	1.5



「おうちチョコレートパーティー」、「チョコ料理堪能」、「SNSに投稿」。

バレンタインデーは、女子同士のチョコイベントを楽しむ場に進化中。

おうちチョコパー経験者は23.0%、やってみたい人は39.5%。チョコ料理経験者は23.8%

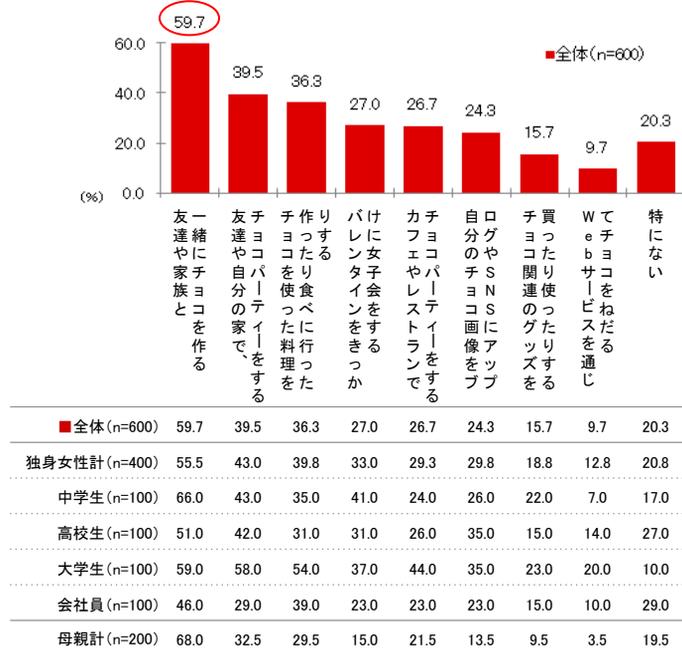
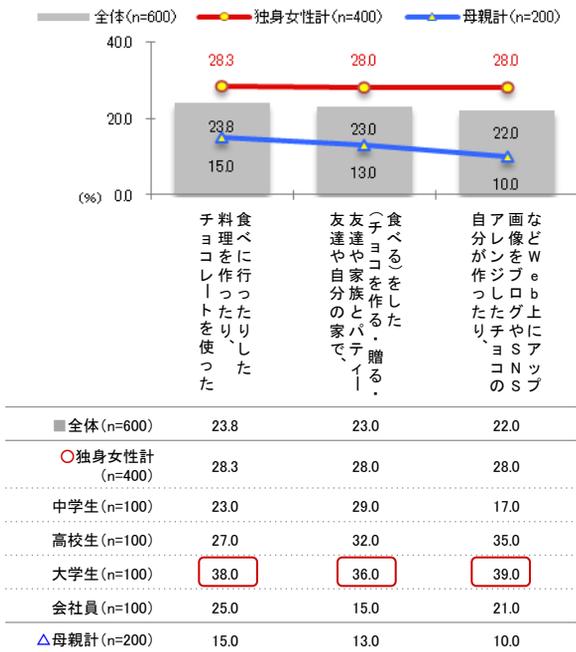
デコチョコなどのウェブUPも人気。ウェブも駆使してバレンタインをとことん楽しみたい。

ここまでの調査で、バレンタインが恋愛イベントから女友達と盛り上がる、女子コミュニケーションの場になりつつあることがわかりましたが、では具体的にはどのようなことをしているのでしょうか。バレンタインデーをきっかけにしたことがあることを聞くと、「チョコレート料理を作ったり、食べに行ったりした」(23.8%)、「友達や自分の家でチョコパーティーをした」(23.0%)などのチョコイベントや、自分が作ったチョコを「ブログやSNSにアップした」(22.0%)など、バレンタインをきっかけに仲間と集い、情報を共有したことがある人は、約4人に1人となっています。独身女性と母親層を比べると独身女性の実施率が高く、中でも大学生の実施率は4割近く高い。友チョコムーブメントは中高生が中心でしたが、バレンタインをきっかけとするチョコイベントは女子大生が主役となっているようです[グラフ30]。

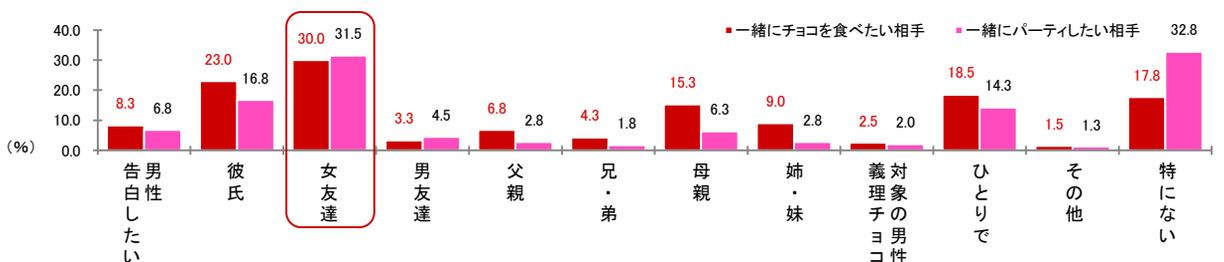
バレンタインデーに今後もやってみたいことを聞くと、「友達や家族と一緒にチョコを作る」(59.7%)が最も多く、“バレンタインといえばデコチョコ”はすっかり定着していますが、次いで「友達や自分の家でチョコパーティー」(39.5%)、「チョコを使った料理を作ったり、食べに行ったり」(36.3%)、「バレンタイン女子会」(27.0%)と続き、バレンタインをきっかけとするチョコイベントがブームになりそうです[グラフ31]。また、バレンタインと一緒にチョコを食べたり、チョコパーティーをしたい相手は、「彼氏」や「告白したい男性」ではなく、やはり「女友達」がトップ。バレンタインデーは、恋人とドキドキ過ごすのではなく、女子同士でにぎやかに過ごす方が、時代の気分となっていることがわかります[グラフ32]。

グラフ30)バレンタインをきっかけにしたことがあること

グラフ31)バレンタインで今後もやってみたいこと



グラフ32)バレンタインに、一緒にチョコを食べたい相手、パーティしたい相手





バレンタイン未来予測

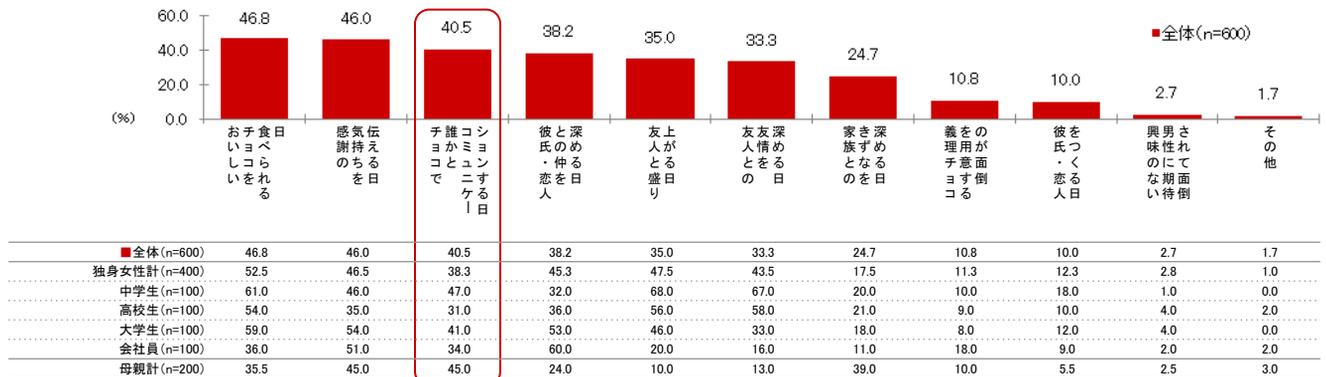
今後はチョコを媒介にした“チョココミュニケーション”の日へ。

バレンタインは「男女問わずチョコを媒介にコミュニケーションを深める日として過ごしたい」(70.5%)。

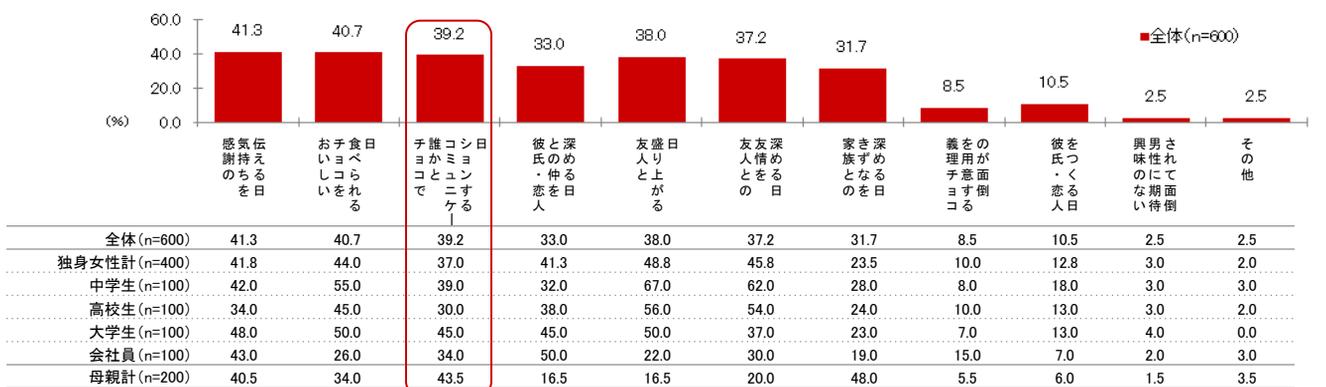
では、これからバレンタインデーはどのようなのでしょうか？ 今のバレンタインデーがどのような日かを聞くと、今のバレンタインデーは「おいしいチョコを食べられる日」(46.8%)、「感謝の気持ちを伝える日」(46.0%)、「チョコを使って誰かとコミュニケーションする日」(40.5%)と捉えられており[グラフ33]、今後は「感謝の気持ちを伝える日」(41.3%)、「おいしいチョコを食べられる日」(40.7%)、「チョコを使って誰かとコミュニケーションする日」(39.2%)となっています[グラフ34]。「恋人を作る日」という本来の意義は薄れ、これからのバレンタインデーは“感謝の気持ちをチョコで伝え合う日”としての性格が色濃くなっていくことが予測されます。実際、バレンタインデーを男女問わずチョコを媒介にコミュニケーションを深める日として過ごしたいかと聞くと、70.5%が「過ごしたい」と回答しています[グラフ35]。

これからのバレンタインデーは、おいしいチョコレートを媒介にコミュニケーションする「チョココミュニケーション」の日となっていきます。

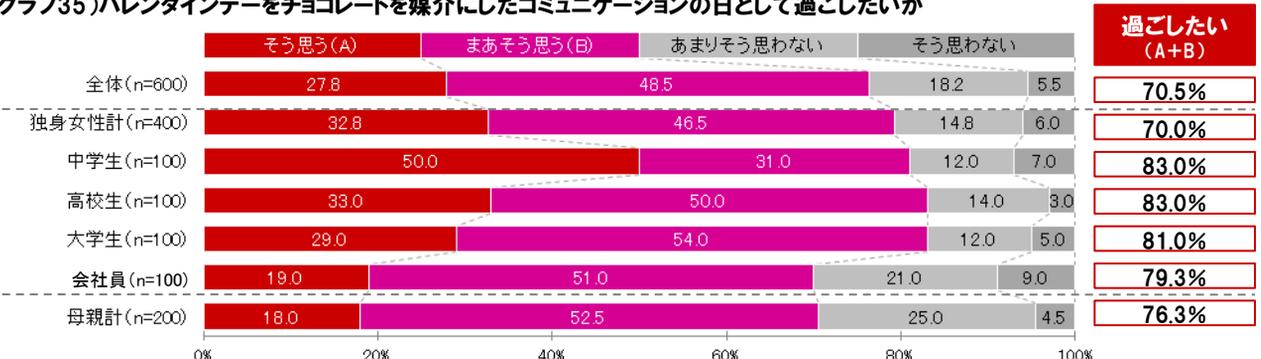
グラフ33)現在、バレンタインデーはどのような日か



グラフ34)今後、バレンタインデーはどのような日になるか



グラフ35)バレンタインデーをチョコレートで媒介にしたコミュニケーションの日として過ごしたいか





バレンタインデーは、お正月と同じくらい大事な日に？

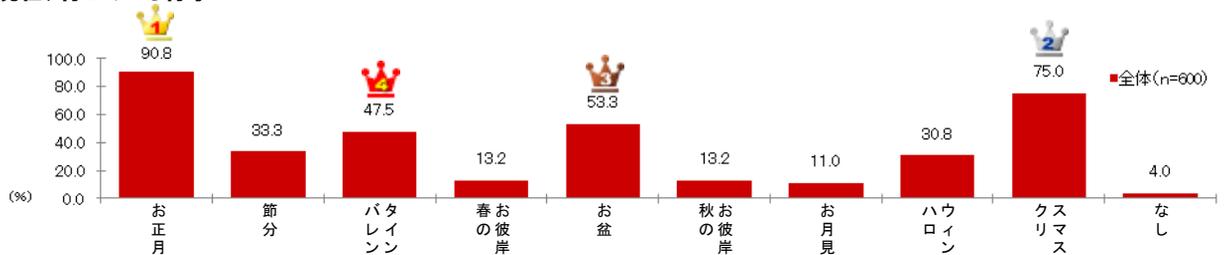
お盆より大事なバレンタイン。中学生にとってはお正月よりも重視したい、外せないイベント。

最後に、年間の行事・歳時記とバレンタインデーを比較してみました。

現在、友達や家族と集まって行っている行事は、「お正月」(90.8%)、「クリスマス」(75.0%)、「お盆」(53.3%)の順となり、「バレンタイン」(47.5%)は「節分」(33.3%)や「ハロウィン」(30.8%)よりも実践度が高くなっています。中・高・大学生では「バレンタイン」の実践度5割を超え、「お盆」を抜き3位にランクインしており、青春時代に“外せないイベント”のひとつとなっています[グラフ36]。

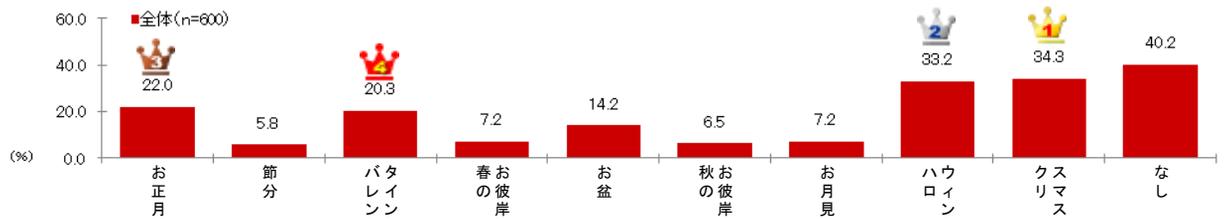
今後行うことが増えそうな行事は、「クリスマス」(34.3%)、「ハロウィン」(33.2%)、「お正月」(22.0%)の順で、「バレンタイン」(20.3%)はお正月と僅差で4位ですが、中学生にとっては、「お正月」(13.0%)よりも「バレンタイン」(32.0%)の方がかなり大事なようで、獲得数に倍以上の差が開いています [グラフ37]。

グラフ36)現在、行っている行事



行事	全体(n=600)	独身女性計(n=400)	中学生(n=100)	高校生(n=100)	大学生(n=100)	会社員(n=100)	母親計(n=200)
お正月	90.8	88.8	85.0	83.0	93.0	94.0	95.0
節分	33.3	28.5	33.0	31.0	33.0	17.0	43.0
バレンタイン	47.5	49.0	53.0	51.0	58.0	34.0	44.5
春のお彼岸	13.2	13.0	16.0	8.0	14.0	14.0	13.5
お盆	53.3	52.0	49.0	50.0	54.0	55.0	56.0
秋のお彼岸	13.2	13.3	19.0	10.0	12.0	12.0	13.0
お月見	11.0	10.0	14.0	9.0	10.0	7.0	13.0
ハロウィン	30.8	32.0	35.0	36.0	40.0	17.0	28.5
クリスマス	75.0	70.3	72.0	67.0	73.0	69.0	84.5
なし	4.0	5.3	6.0	8.0	4.0	3.0	1.5

グラフ37)今後、行うことが増えそうな行事



行事	全体(n=600)	独身女性計(n=400)	中学生(n=100)	高校生(n=100)	大学生(n=100)	会社員(n=100)	母親計(n=200)
お正月	22.0	22.3	13.0	26.0	23.0	27.0	21.5
節分	5.8	6.3	5.0	7.0	4.0	9.0	5.0
バレンタイン	20.3	23.5	32.0	26.0	20.0	16.0	14.0
春のお彼岸	7.2	7.3	10.0	7.0	2.0	10.0	7.0
お盆	14.2	14.3	12.0	12.0	11.0	22.0	14.0
秋のお彼岸	6.5	6.8	9.0	7.0	1.0	10.0	6.0
お月見	7.2	9.0	11.0	10.0	8.0	7.0	3.5
ハロウィン	33.2	37.3	37.0	44.0	37.0	31.0	25.0
クリスマス	34.3	38.3	36.0	44.0	39.0	34.0	26.5
なし	40.2	35.3	30.0	28.0	41.0	42.0	50.0

